

福知山線列車事故から17年

「祈りの杜」献花行動



J R西労組 上村委員長



河合篤所長

4月25日（月）、JR連合は「祈りの杜」への献花行動を行い、貨物鉄産労からは辻村書記長が献花を行いました。

あらためて、事故により尊い命を失われた107名の御霊に心よりご冥福をお祈りするとともに、お身体や心に大きな傷を負われ、今なお苦しんでおられる多くの皆様の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

私たちは、一歩間違えばこのような大事故をお越しかねない業務に日々ついています。JR貨物としても、あのような事故は決して起こさないと、安全への取り組みを日々強化していますが、残念ながら、大幅な速度超過や脱線事故、虚偽隠蔽や保安装置独断扱い等、重大な事故が起きており、昨年末には山陽線において列車脱線事故がおき、一つ間違えば列車衝突もあった非常に危険な事象でありました。

ダイヤ改正から1ヶ月以上が経過し、作業も慣れ寒さも遠のき気が緩む時期です。福知山線列車事故・石勝線列車火災事故・東海道線列車後退事故のような重大事故を二度と起こさないよう、職場における安全の確保が、鉄道全体の安全確立につながるとの認識に立ち、重大労災や大きな事象が、今なお起きている実態に危機感を持ち、日々の業務を行ってください。

当日は、大阪市内において、JR西労組主催「2022年 事故を決して忘れず、安全を誓う集い」が開催され、JR西日本常務技術理事・安全研究所長河合篤氏による基調講演「ヒューマンファクターの理解と安全性の向上」を聞き、更なる安全性向上に取り組むことを誓い合いました。

尚、「安全を誓う集い」の前にJR連合第3回安全対策会議を行い、今後の安全対策について話し合いを行いました。

5月12日（木）、岡山市内において第12回安全シンポジウムが開催されます